

学年：6年	単元名：どんな計算になるのかな
-------	-----------------

1. 単元目標：(全2時間)

○分数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。

考判表・立式の方法を考えて、立式をする。

知・技・適切な立式をして問題を解決することができる。

2. 指導内容

- ・分数の乗除についての演算決定

3. 指導のポイント

○立式の方法

- ・動作化
- ・整数比の考え方(形式不易の考え方)
- ・数直線図(2本の数直線)

※場面に応じて、適切な方法を選んで、問題解決に当たる。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

- ・身の回りの事柄について、比較するということの必要性や大切さを知る。
- ・場面にに応じて比較する方法を考えることができる。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

- ・自分の考えと友達の考えを視点を決めて比較し、それぞれのよさを認めることのできる子ども。
- ・身の回りの事柄について、観点を決めて見つめ、判断できる子ども。

5. 学習展開

第1・2時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○どんな式になるのか？なぜその式になるのかを考えよう。(P70)

○「倍の問題」ではなく「単位量あたり」の問題である。

○WBを使い、いろいろな解き方を発表させ、自分にあった解き方を選択させる。

演算決定の方法は、

- ①動作化
- ②整数比の考え方
- ③数直線図

○いろいろな解き方を知る。

○いろいろな解き方を活用しようとする。

(数直線図)基本の形をかいてから、文章を読んで数値を入れていく。

基本の形



○数直線図だけに絞る方法もある。

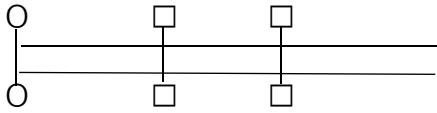
単元の目標

- ・除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばす。

本時の目標（第1・2時）

- ・数直線図に、基準量・比較量等を書き入れ、その関係を使って演算決定できる。

本時の展開

子どもの活動	指導上の留意点（・）と評価（●）
1、問題把握 ○数直線図の書き方を確認する。  横軸は同じ単位 縦軸は同じもの 4か所のうち3か所を埋めることができる。 空欄になったところに向かって矢印をかく。 縦の関係か横の関係を使って立式をして 答えを出す。 2、自力解決 ○①から順に④までの問題を解いていく。 数直線図・式・答え 3、学び合い（つなぎタイム） ○どのように考えて答えを出したかホワイトボードを使って説明する。 班内での相互発表 ↓ 全体で発表（指名） 4、まとめ 数直線図を使うとかけ算わり算の問題を簡単に 解くことができる。 5、振り返り、感想 ○⑤の問題を解く。 ※数直線図は、比例関係にある問題の演算決定する ためにある。問題や計算の意味は、説明するこ とはできない。	・数直線図の書き方を想起させる。 ●数直線図の使い方がわかっているか。 ・困っている児童には、 ①単位をそろえること ②大小関係を守ること ③矢印の方向を間違えないようにすることのヒントを与える ・早くできた児童には、他の解き方を考えるように指示する。 ・早くできた児童を中心に指名して、解答をホワイトボードにかかせる。 できれば、2種類の解き方を出させたい。 ●数直線図を活用して問題を解こうとしているか。 ・できれば全員に発表させたい。 ●自分の考えと友達の考えを比べて聞いているか。 ●自分の考えた方法をわかりやすく説明しているか。 ・2つの数直線図が必要なことを確認する。 ・「単位量あたり」による比較の問題。 ・個別指導